



楽しく！子育て！！



子育てフチアドバイス

幼児の発達とコミュニケーション☆

ことばを覚え、少しずつ会話が成り立つようになる幼児期は、子育ての楽しさを実感するころ。その一方で、子どもの自己主張にどう対応するのか、しつけはどうすればいいのかなど、悩みや疑問が増えるころでもあります。今回は子どもと今日からできる会話を紹介します。

1歳半～事前の声掛け～

一定の生活リズムと見通しの立てられることばかけで、子どもは安心して行動できます。

2歳半～がっぶり四つに組まない～

2歳は自我が目覚める時期。「イヤ」「ダメ」は指示や拘束への抵抗で、本当にイヤとは限りません。「イヤ」「ダメ」をことば通りに受け止めすぎないで。

親子ふれあいあそび

“ちょち ちょち あわわ”

- ① ちょち、ちょち (両手を2回あわせる)
- ② あわわ (手を口にあてる)
- ③ かいぐり かいぐり (糸巻きの要領で両手を回す)
- ④ とつとの目 (片方の手で、もう片方のてのひらをさす)
- ⑤ おつむ てんてん (両手で頭をポンポンとたたく)
- ⑥ ひじ ぼんぼん (片方の手で もう片方のひじをたたく)



※最後の「ひじ」を、「おなか」「ひざ」などに変えてもOK！

※You Tubeで「ちょちちょちあわわ」を検索すると、ヒットしますよ。

0～1歳児は、人との関わりの中で安心感を抱きながら過ごせることがポイント！規則正しい生活のリズム(寝る・食べる・遊ぶ)を大切にしながら子どもとふれあいを楽しんだり、目を合わせたりして、共に過ごす喜びを味わいましょう。



えんてい

溪谷の川面が凍結した先月。校舎の前庭に鹿が六頭、七頭。夕闇の中でオンコの葉を食べています。長年いる職員も初めて見る光景。体育のスタートピストルで追い払うも、翌日夕方はまた対岸から渡ってきてムシヤムシヤ。同じやりとりが一週間続き、ほぼダメになった樹も何本かあります。作物を荒らされる農家の怒りと苦労が少しわかったような気がします。えさを求めてさまよう彼らも必死なのでしょうが・・・熊でさえ都市部に出没する昨今、増え続ける動物との共存は全道的な課題です。なにぶん決定打がありません。人間の知恵が試されているような気がします。

(J・K)

ふれあいひろばでは、みなさんからの情報をお待ちしています。

教育委員会社会教育係まで

ふれあい文芸コーナー (短歌)

集い来し白髪まじりの弟妹は皺寄せ合ひて法要の席に
足のし京都の寺の庭めぐり苔石池を五感でたのしむ

田中 やえ子 (山脈)
堂前 義夫 (山脈)